

国際奉仕委員会アンケート集計報告



2013-14 年度国際ロータリー第 2790 地区

地区国際奉仕委員会

アンケート実施クラブ 84 クラブ (100%回収済み)

アンケートの目的

このアンケートは、昨年に引き続き各クラブの国際奉仕の在り方など、特に姉妹クラブや友好クラブとの関係、ロータリアン同士のロータリー友情交換が有効に機能しているのかどうか？ それに加えて、今年度から財団補助金制度が大きく変更されFVP（未来の夢計画）と呼ばれる新しい補助金モデルの内容がどの程度周知されているのかどうか？ その辺の状況を把握し、今後の地区国際奉仕委員会活動全般に反映させていただくことを目的として実施させていただきました。

国際奉仕委員会アンケート用紙

クラブ名 (RC)
ご回答者 ()
役職名 ()

(選択設問は該当する項目を○で囲んでください)

- 1) 本年度、貴クラブが予定をしている国際奉仕委員会の活動内容をご記入下さい。
(すでに実施している場合は、実施内容をご記入ください。)
.
.
.
※例：姉妹クラブ・友好クラブの締結、ロータリー友情交換活動（国際交流活動）
シドニー国際大会への参加、人道支援活動等
- 2) それらの活動は順調に行われていますか？（予定も含む）
① 順調である ② 多少の問題を抱えている ③ わからない
- 3) 上記で②とお答え頂いたクラブは具体的にどのようなことですか？
.
.
- 4) 次年度以降、新しい活動の計画や考えはありますか？
.
.
- 5) 今年度からスタートする新補助金制度の地区補助金（海外向け）、グローバル補助金を申請する計画はありますか？
① ある ② 考えていない ③ 未定である
- 6) 新補助金制度を使つての国際奉仕活動をする場合の問題点は何ですか？
①新補助金制度のハードルが高い。
②事業の内容をクラブ内で企画検討できない
③新補助金制度が良く理解出来ていない
④わからない
- 7) 地区委員会に対してのご要望があればご記入ください。
.
.
.

アンケートの回答は10月31日までにガバナー事務所にFAXにてお願い申し上げます。

※回答用紙送付先 FAX：047-711-1546（ガバナー事務所）

ありがとうございました。

設問1) 本年度、貴クラブが予定している国際奉仕の活動内容をご記入下さい。

(複数回答あり)

① 具体的な奉仕活動を実施している

32 クラブ

- ・ウイグル自治区への教育支援
- ・ベトナム、ホーチミン市に教育支援
- ・フィリピン、セブへの医療支援・ストリートチルドレン施設の支援
- ・カンボジアの識字教育のための支援
- ・インドネシア訪問 NPO 活動支援
- ・台湾屏東市への僻地巡回車両寄贈 (グローバル補助金申請)
- ・ラオスとの識字率向上協力
- ・スリランカ児童への学用品の支援
- ・カンボジアで寄贈した井戸の継続支援
- ・会員によるオランダ・ウィーン能公演に同行
- ・タイ メガネ寄贈プロジェクトの実施
- ・東仁川 RC とのグローバル補助金事業
- ・アフリカ ベナン共和国の子供たちの給食サービスへの援助
- ・「第12回韓日親善会議」に参加
- ・モンゴル フレーRC とのマッチング・グラントでウランバートル市「児童発達・相談センター」浄化槽設備の提供プロジェクト
- ・ダルニー奨学金 (メコン川地域の国々の子供たちの国際教育里親システム) に協力
- ・インドネシア バリ島の貧困層に対する医療・教育支援 (地区補助金活用)
- ・麗澤大学留学生との交流
- ・ミンダナオ島ダバオ盲学校支援 (楽器) (地区補助金の活用)
- ・フィリピンダバオ市ストリートチルドレンの歯ブラシ指導
- ・日台韓小学生書画交流事業
- ・姉妹クラブ (マレーシア) との短期学生ホームステイ事業 (派遣と受入を交互に行う、インターアクトクラブとも連携)
- ・タイ チェンマイ RC に資金を送り、金利を教育支援に充てている
- ・山羊銀行事業 (ネパールにて、山羊を貧困家庭に貸与して学校教育への参加を支援) (グローバル補助金申請中)
- ・姉妹クラブ (フィリピン) 子弟の日本滞在受入
- ・ミャンマーへの小学校支援、以前建設した校舎・トイレの改修工事 (地区補助金活用)
- ・カンボジアへの飲料水設備 (井戸) 提供

(2)

- ・海外留学生の会員企業へのインターンシップ模索
- ・姉妹クラブ（台湾）とのマッチンググラント
- ・カンボジアにて助産婦育成事業への支援（NPO 法人を通じて）
- ・スリランカ視察 里親制度支援・食糧支援
- ・ネパール識字率向上支援

② 姉妹クラブ・友好クラブとの交流（お互いの例会参加など）	25 クラブ
③ シドニー国際大会への参加	11 クラブ
④ 地域の国際交流協会への協力活動	7 クラブ
⑤ 現在無し、又は検討中・勉強中	16 クラブ

設問 2) それらの活動は順調に行われていますか？

回答 ① 順調である	51 クラブ
② 多少の問題を抱えている	12 クラブ
③ わからない	5 クラブ

設問 3) 上記で②とお答え頂いたクラブは具体的にどのようなことですか？

- ・WCS 委員会が無くなりクラブ独自の支援になるので予算獲得に問題がある。
- ・相手国にロータリークラブが無い。
- ・現地との連絡がとりにくい。
- ・現地での事業のスピードが遅い（日本ほど約束・実行等に厳密でない）。
- ・送金の確認に時間がかかった。
- ・クラブの国際交流が低調である。
- ・姉妹クラブを締結して三十数年が経過し、お互いのメンバーも入れ替わり、両クラブの状況も変化しているが、交流はマンネリ化している。新たな交流の形を考える必要性があるが、具体化出来ないでいる。
- ・本年、姉妹クラブが来日予定であったが先方の都合で中止。
- ・姉妹クラブに日本語を話せる会員が少ない。
- ・次年度も同じ支援先に対して、補助金の活用は可能かどうか。
- ・相手国の政情不安（テロ集団の横行）
- ・地区補助金の受託の不安
- ・日韓問題
- ・姉妹クラブ締結当時は同規模であったが、相手が大きくなりすぎて対応に困る。

設問4) 次年度以降、新しい活動の計画や考えはありますか？

具体例

- ・姉妹クラブ・友好クラブの締結
- ・ネパールからの研修生受入の実現
- ・オーストラリアへの学生交換プログラムの支援
- ・モンゴルの子供達への人道的支援活動
- ・地区補助金、グローバル補助金の活用を検討
- ・市内に在住している外国人との交流を検討
- ・ラオスへの地雷撤去活動への参加

設問5) 今年度からスタートする新補助金制度の地区補助金（海外向け）、グローバル補助金を申請する計画はありますか？

回答 ① ある	13 クラブ (15.5%)
② 考えていない	17 クラブ (20.2%)
③ 未定である	54 クラブ (64.3%)

設問6) 新補助金を使つての国際奉仕活動をする場合の問題点は何ですか？

(複数回答あり)

回答 ① 新補助金制度のハードルが高い	26 クラブ
② 事業の内容をクラブ内で企画検討できない	23 クラブ
③ 新補助金制度が良く出来ていない	19 クラブ
④ わからない	8 クラブ
無回答・問題なし	18 クラブ

(その他)

- ・時間がかかりすぎる
- ・クラブ内の会員の負担を考えてしまう

設問7) 地区委員会に対してのご要望があればご記入下さい。

- ・新しい補助金制度を会員に周知させるような講習が必要と思われる。
- ・海外支援についてクラブにアドバイスがほしいです。
- ・継続性のある制度にしてほしい。
- ・各種補助金の申請についての説明会と報告会を開催してほしい。

- ・卓話によりクラブ内で勉強したい。
- ・補助金申請についてサポートをお願いします。
- ・具体的な国際奉仕の事例紹介
- ・他クラブの補助金活用例を知りたい。
- ・情報を沢山提供してほしい。
- ・ガバナーの国際奉仕に対する姿勢がよく見えません。
- ・今年度から次年度にかけて当クラブの方向づけがしやすいような指導をお願いしたい。
- ・今回地区委員会の補助金が高額であるが、地区からの持ち出し金額は？
- ・今年度実施する活動内容や実施後の苦労話などをまとめていただきたい。
- ・新補助金制度について、地区ではなく分区単位での説明会の開催。
- ・メールを頻繁に各クラブ担当者に送ることは担当者に自覚を促す意味からも、クラブ活動に取り組むにも非常にプラスになります。お手数ですが引き続き宜しくお願いします。
- ・アジア地区（貧困国）への調査（支援視察の実行等）
- ・地区補助金申請の内容の明確化による難度の軽減
- ・姉妹クラブ・友好クラブの協定書について、内容の事例を開示していただけると助かります。
- ・補助金を利用する場合、予め申請段階で相手国に通知し協力を必要とする。結果、不採用となった時のことを考えると地区補助金の申請を決断することが困難。
- ・地区委員会の皆さんの熱意が伝わってくるので、何かをやらねば・・・という意識を持つことが多くなったことはありがたいと思っています。

アンケート調査結果のまとめ

- 前年度に比べて姉妹クラブや友好クラブとの交流が増えてきています。
18クラブ（前年度）⇒ 25クラブ（今年度）
- 前年度に比べて具体的な国際奉仕活動を実施しているクラブが増えてきています。
10クラブ（前年度）⇒ 32クラブ（今年度）
- 前年度に比べて国際奉仕活動が順調に推移しているクラブも増えてきています。
44クラブ（前年度）⇒ 51クラブ（今年度）
- 前年度に比べて新補助金制度の地区補助金（海外向け）、グローバル補助金の申請を計画しているクラブが増えてきています。
5クラブ（前年度）⇒ 13クラブ（今年度）
- 徐々に国際奉仕の在り方や奉仕プロジェクトについて、各クラブが意識を高めてきているようです。
- 姉妹クラブや友好クラブなど、ロータリー友情交換活動が奉仕プロジェクト事業の一助になっているようです。
- 各クラブの国際奉仕ご担当者の方々が、もっと多くの情報を求めていることを再認識いたしましたので、地区国際委員会としても更に多くの情報を集め、ニュースレター等で情報提供することに努めたいと思います。
- 奉仕プロジェクト事業の資金源である地区補助金（海外向け）及びグローバル補助金を利用するにあたり、ハードルが高い・事業の内容をクラブ内で検討できない・新補助金制度の理解がよく出来ていない等のご意見が非常に多かったことを踏まえ、早急に疑問の多かったすべての問題点を検討し、Q&A形式で出来るだけ解消することに特化したクラブ国際奉仕委員長会議を開催する必要があると再認識いたしました。